

## ◎景気ウォッチャー調査[2021年9月]

### 2021年9月の中国地域調査結果の概況

#### ■景気の実況に対する評価

現在の景気を3か月前と比較するとその評価は次のとおりであった。

景気の実況判断D I (合計)は、前月を10.6ポイント上回る44.8となった。

分野別にみると、家計動向関連は、「やや悪くなっている」、「悪くなっている」の回答の割合が減少し、「まん延防止等重点措置で、飲食店等が時短営業している影響で、夜間の売上が激減しているが、日中の仕事がまざまざ良い状態であることから、3か月前と比べるとやや良くなっている。」(タクシー運転手)、「新型コロナウイルス禍でも、一定の来客数や問合せ件数があり、前向きに考える客の割合が多い。」(設計事務所)等の理由から、「やや良くなっている」の回答の割合が増加したため、前月を14.3ポイント上回る42.1となった。

企業動向関連は、「やや悪くなっている」、「悪くなっている」の回答の割合が減少し、「受注量や販売量の動きが良くなっている。」(輸送用機械器具製造業)等の理由から、「良くなっている」の回答の割合が増加したため、前月を3.0ポイント上回る52.2となった。

雇用関連は、「新型コロナウイルス第5波の影響で、地域経済はやや悪くなっている。」(人材派遣会社)、「企業の採用意欲に変化はないが、新型コロナウイルスの長引く感染拡大によって、8月以降、個人消費の減少が顕著になっている。」(新聞社)等の理由から、「やや悪くなっている」の回答の割合が増加したため、前月を0.1ポイント下回る48.4となった。

	9月	8月	前月差
合計	44.8	34.2	10.6
家計動向関連	42.1	27.8	14.3
企業動向関連	52.2	49.2	3.0
雇用関連(参考値)	48.4	48.5	-0.1

#### ■景気の先行きに対する評価

現在より3か月先の景気の先行きに対する評価は次のとおりであった。

景気の先行き判断D I (合計)は、前月を15.5ポイント上回る55.2となった。

分野別にみると、家計動向関連は、「やや悪くなる」、「悪くなる」の回答の割合が減少し、「駅前通りでは、県外客らしい通行人が少しずつ増加してきており、今後、人流や物流が活発化する。」(商店街)、「県内の新型コロナウイルスの新規感染者数が減少傾向であること、県の観光支援策が再開したことなどから、景気はやや良くなる。」(テーマパーク)等の理由から、「やや良くなる」の回答の割合が増加したため、前月を17.8ポイント上回る55.8となった。

企業動向関連は、「やや悪くなる」、「悪くなる」の回答の割合が減少し、「今後、経済活動が活性化し、消費も増加する。」(繊維工業)、「ワクチン接種率が上昇し、社会の動きも活発になってくる。」(輸送用機械器具製造業)等の理由から、「やや良くなる」の回答の割合が増加したため、前月を9.0ポイント上回る52.2となった。

雇用関連は、「やや悪くなる」、「悪くなる」の回答の割合が減少し、「ワクチン接種や各種の新型コロナウイルス対策が講じられてきているので、11月頃から旅行などのサービス業の景気が少しずつ回復する。」(学校)、「緊急事態宣言が解除され、飲食サービス業の景気が回復する。」(その他雇用の動向を把握できる者)等の理由から、「やや良くなる」の回答の割合が増加したため、前月を13.7ポイント上回る57.8となった。

	9月	8月	前月差
合計	55.2	39.7	15.5
家計動向関連	55.8	38.0	17.8
企業動向関連	52.2	43.2	9.0
雇用関連(参考値)	57.8	44.1	13.7